

平成29年度事業実施報告

(自 平成29年4月1日～至 平成30年3月31日)

第1 建築に係る調査、研究、開発に関すること

1 特定専門研究委員会の設置等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

平成29年度は、以下の2つの研究委員会が活動した。

・平成28年度設置

①「外断熱耐久性調査委員会」（委員長 足立裕介氏、設置期間：平成28年5月～平成30年3月）

②「木質構造設計支援技術資料作成委員会」（委員長 平井卓郎氏、設置期間：平成29年2月～平成30年3月）

「外断熱耐久性調査委員会」については、研究報告書を作成して活動を終了した。

また、「木質構造設計支援技術資料作成委員会」については、1年延長し、平成30年度も活動を継続する。

2 調査研究等の受託事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【その他事業】

平成29年度は、下記の4件の受託事業を実施した。

①「札幌版次世代住宅性能評価業務」 (委託者：札幌市)

札幌市では、独自の断熱・気密性能基準として、「札幌版次世代住宅基準」を平成23年度に規定しており、省エネルギー住宅を普及させることによって平成32年までに約29万トンのCO₂削減（平成19年比）を目指している。

本業務は、建築主等が基準適合住宅の認定を受けるために札幌市に申請した申請書及び設計図書等について、「札幌版次世代住宅性能評価申請書の手引き」及び「札幌版次世代住宅基準技術解説書」に沿って審査を行い、またこれに係る事業者等からの技術的な相談などに応じた。

期間：平成29年4月3日～平成30年3月30日 受託金額：2,386,800円

②「H雨水ポンプ場吐出水槽杭不具合原因究明業務」 (委託者：民間企業)

民間企業からの委託により、H雨水ポンプ場建設工事における吐出水槽の基礎杭に生じた破断原因を明らかにする事について受託委員会を設置し、業務を行った。

期間：平成29年5月22日～平成29年6月30日 受託金額：1,171,476円

③「既存外断熱建築物における外断熱の有効性を確認するための各種調査Ⅱ」

(委託者：民間企業)

外断熱を施した公営住宅、学校等の建物を対象にコアによる圧縮強度試験、中性化試験、外観調査、室内温度調査等を実施し、外断熱工法の各種効果を検証するため、受託委員会（外断熱耐久性調査委員会が兼務）を設置し、業務を行った。

期間：平成29年4月2日～平成30年3月30日 受託金額：1,000,000円

④「Sビルの補修に関する検証業務」 (委託者：民間企業)

民間企業からの委託により、欠陥梁を有するSビルの構造性能、欠陥梁の補修方法、耐震性

能および耐震診断規準の適用の妥当性について受託委員会を設置し、業務を行った。

期間：平成30年3月14日～平成30年3月29日 受託金額：744,120円

3 関係資料の収集・閲覧等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

本年度は、関係資料の収集・閲覧はなかった。

第2 建築技術の普及・啓発に関すること

1 H o B E Aフォーラム2018 の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

平成29年度は平成30年1月25日（木）札幌エルプラザ 3階 ホール（札幌市北区北8条西3丁目）において、「サステイナブル社会における建物の戦略的維持保全に向けて」をテーマにフォーラムを開催した。基調講演として、北海道大学大学院工学研究院 教授 羽山広文氏が「修繕積立金の確保と外断熱改修の実現－資金計画・エネルギー消費量・室内環境－」と題し、外断熱工法によるマンション大規模修繕の実施とその資金確保について講演した。続いて、北海学園大学工学部 准教授 足立裕介氏が「既存建物における外断熱の有効性に関する各種調査」と題して、各種外断熱工法に見られる劣化現象や耐久性の現状についての調査結果を紹介した。その後、羽山先生、足立先生に加え、日本建築家協会北海道支部 支部長 遠藤謙一良氏、㈱日本ファシリティ 特別事業部 部長 森久保良希氏をパネラーとし、当協会理事 西川 忠氏をコーディネーターとするパネルディスカッションを行った。この講演会には、当協会々員をはじめ一般関係者を含めて、53名の参加があった。

終了後にエルプラザ地下1階において懇親会が開催され、26名が参加した。

2 講演会、見学会の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

① 耐震補強した北大キャンパスの歴史的建築物見学会

平成29年8月23日（水）に北大キャンパスに多く現存する歴史的建造物のうち、耐震補強した建物フレームに光を当て、補強設計や補強構工法の詳細などをブラタモリ風に歩き見る散策型見学会を実施した。北大の北側にある第2農場の建物群の補強に関する解説は平井先生、北大総合博物館の補修や補強に関する解説は松井氏、西川氏が行った。参加者は22名で、好評・好天のうちに終了した。

②メーソンリー現場見学会

平成29年11月14日（火）に札幌市内においてメーソンリー現場見学会を行った。1件目は、(有)奈良建築環境設計室の設計で手稲区前田に建設中の新築住宅（1階組積造、2階木造）で参加者7名、2件目は(株)スロウルが2016年リノベーションオブザイヤーを受賞した清田区北野に建つ「三角屋根のブロック造の家」で、参加者は8名であった。

3 住宅リフォーム事業（補助事業を含む）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【その他事業】

住宅リフォーム事業部会(部長：安田敦司氏)を9月19日に開催し、活動内容の企画・実施を行った。また、平成20年5月に「北海道住宅リフォーム推進協議会」に加入し、当協会の石山会長が推進協議会の会長として活動を継続している。

今年度においては、事業者向けセミナーについては、テーマを「長寿命化リフォームビジネス実践のヒント」、消費者向けセミナーについては「健康リフォーム講座」として実施した。これらのセミナー等は、北海道住宅リフォーム推進協議会と（一社）住宅リフォーム推進協議会の主催で開催され、企画・実施は協議会事務局として当協会が行った。

【補助事業】

国交省：「住宅市場整備推進等事業（住宅ストック維持・向上促進事業）」

国土交通省では、健全な中古住宅・リフォーム市場の発展を図るため、良質な住宅ストックが市場において適正に評価され、消費者が住生活に関するニーズを的確に充足できる環境を整備する取組を支援している。

本事業は、住生活に関するニーズを一元的に受け、専門家が連携して多様な消費者のニーズに対して的確に助言・提案を行うサポート体制の整備を支援するもので、住宅リフォーム相談窓口の連携体制の構築・維持・広報、事業者向けセミナー、消費者向け住宅リフォームセミナーとリフォーム相談会、消費者向け住宅リフォーム冊子の増刷、推進協議会ホームページの更新、推進協議会パンフレットの印刷などを実施した。この事業の一部を北海道住宅リフォーム推進協議会に「29年度北海道住宅リフォーム冊子印刷・セミナー開催等事業」として委託した。委託金額は816,000円。

期間：平成29年7月1日～平成30年2月28日

受託金額：1,582,000円

	事業者向けセミナー	消費者向けセミナー	無料リフォーム相談会	
主催	北海道住宅リフォーム推進協議会 (一社) 住宅リフォーム推進協議会		北海道住宅リフォーム推進協議会	
日時	29. 11. 14	29. 12. 2	29. 10. 12	30. 2. 13
場所	北農健保会館 芭蕉	ホテル札幌ガーデンパレス4階 「平安」	ホテル札幌ガーデンパレス2階 「丹頂」	札幌駅前通地下歩行空間北大通交差点広場 (西)
内容	「長寿命化リフォームビジネス実践のヒント」・「住宅リフォームの減税制度」 (講師:大桃 一浩氏)	「健康リフォームについて」・「リフォームの進め方と減税制度などについて」・「北海道の健康リフォームの事例」 (講師:奈良 顕子氏)	一級建築士4名、リフォーム事業部会会員1名及び宅地建物取引士1名による個別相談	一級建築士2名による個別相談

参加者	31名	13名	7名・組	10名・組
備考			(一財)北海道建築指導センター主催の「住宅リフォームセミナー」と同時開催	平成29年度たっけんライブラリー事業「不動産無料相談会」と同時開催

4 相談事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【継1事業】

平成20年度より実施してきたコンサルタント事業は相談業務に改称し、寒地建築研究所において実施することとした。本年度はマンションの結露に関することのほか3件の相談事例があった。

5 機関紙「会報 No14」の発行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【継1事業】

当協会の機関紙「会報 No14」を平成30年1月に発行した。内容としては、5研究会がそれぞれの分野を受け持って構成する形を踏襲した。巻頭に当協会理事丹 英司明氏が『未来への贈りもの』と題する寄稿を掲載した。

そのほか、各研究会が担当し構成した内容は次のとおりである。

○メーソニー建築研究会

- ・四段九寸 国土交通省国土技術政策総合研究所 長谷川直司氏
- ・補強コンクリートブロック造の住宅 (有)奈良建築環境設計室 奈良 顕子氏
- ・移住を待つブロック平屋 山之内建築研究所 山之内裕一氏

○外断熱建築研究会

- ・ロンドン グレンフィルタワー火災に関する考察 (株)JSP 小浦 孝次氏
- ・特定専門研究委員会「外断熱耐久性調査委員会」報告 北海学園大学 足立 裕介氏
- ・分譲マンションの外断熱改修に向けた住民の合意形成/2017年改修2棟の事例 (有)大橋建築設計室 大橋 周二氏

○建築診断研究会

- ・バクテリアを用いた自己治癒コンクリート技術 會澤高圧コンクリート(株) 劉 宏涛氏
- ・建築の総合診断医「ドクターG」を目指して 北電総合設計(株) 西川 忠氏
- ・活動報告 北海学園大学 足立 裕介氏

○木質構造研究会

- ・木構造と木質構造 北海道大学名誉教授 平井 卓郎氏
- ・木造耐力壁の実験見学会と木造建築の耐震設計・施工に関する情報交換会」+ 「ほろ酔い放談会」 北海学園大学 植松 武是氏
- ・木質構造設計支援技術資料作成委員会のご紹介 北海学園大学 植松 武是氏

○環境・設備・エネルギー研究会

- ・住宅換気の信頼性向上への取り組み 北海道科学大学 福島 明氏

○協会事業部：最近の活動

1. BIS認定事業
2. 北海道住宅リフォーム事業者登録制度
3. 北海道住宅検査人制度

○住宅リフォーム事業部の活動

1. リフォームに関する消費者・事業者への情報提供
2. 国費による補助事業の申請

○会員広告

○協会が頒布している本・報告書

○事務局から

なお、例年協会会報には「会員紹介」のページを設け、掲載の法人会員から広告料をいただいているが、今回の会報No. 14には10社の掲載があった。

6 普及・啓発資料の作成・頒布等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【その他事業】

ア 普及図書等の頒布

平成25年度省エネ基準に合わせるとともに技術の進歩・普及を反映させるためB I S講習会用テキスト「北方型住宅の熱環境計画2010」の改訂を2015年に行い、名称を「北の住まいの熱環境計画2015」として発行したが、その後、基準に変更があったことから修正を加え、「北の住まいの熱環境計画2015（第2版）」として増刷し、B I S講習会で使用するとともに一般頒布も行った。既刊普及資料等の頒布は次のとおりである。

既刊普及資料の頒布（主なもの）

「よくわかる！外断熱工法」	11冊
「丈夫で長持ち・快適住宅のすすめ」	4冊
「RC造 外断熱の疑問に答える」	8冊
「住まいの高性能リフォームの技術」	4冊
「住まいの高性能リフォームの技術」事例編	2冊
「RC造 外断熱改修工法ハンドブック」	10冊
「住宅検査人登録講習会テキスト」講習会以外	8冊
「BIS 北の住まいの熱環境計画2015」講習会以外	21冊

イ 各種研究委員会活動の成果等のフィードバック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

特定専門委員会研究結果報告と法人会員企業の概要・製品・技術紹介が平成29年12月7日（木）14:45から札幌エルプラザ環境研修室においてなされた。

・外断熱耐久性調査委員会（中間報告）

足立裕介委員長

- ・木質構造設計支援技術資料作成委員会（中間報告） 植松武是幹事
- ・法人会員企業の概要・製品・技術紹介
- 「バクテリアを利用した自己治癒コンクリートほか」 會澤高圧コンクリート(株) 劉 宏涛氏
- 「LLH外断熱通気層システム」 株式会社ツヅキ 安 倫太郎氏

また、研修会の終了後、17時15分から「ホテルマイステイズ札幌駅北口14階レストラン」（北区北8条西4丁目）において、会員交流・忘年会を開催した。参加者は研修会に33名、交流忘年会に28名であった。

7 ホームページの充実・運用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【継1事業】

平成17年に開設し、平成28年10月にリニューアルしたホームページについて、適時改訂と掲載内容等のチェックを行い情報の更新・追加を行ない、講演会・研修会・見学会などの行事について会員外の方への告知を積極的に行った。また、研修会・セミナー等の参加申込をWeb上で行うことの試行を始めた。

第3 建築技術者・技能者等の育成・認定・研修に関すること

1 B I S 認定事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【その他事業】

B I S 認定事業について、今年度は下表のように認定制度運営委員会を1回、試験講習委員会を3回開催した。試験講習委員会はB I S テキスト改定のため開催回数が増えた。

委員会	回数	開催日	場所
B I S 認定制度運営委員会	第1回	平成30年2月8日	ホテル札幌ガーデンパレス
B I S 試験講習委員会	第1回	平成29年4月27日	大五ビル会議室
	第2回	平成29年9月28日	大五ビル会議室
	第3回	平成30年2月8日	ホテル札幌ガーデンパレス

B I S 資格者新規養成のための養成講習会は札幌市で2回実施したほか、昨年度に引き続き仙台市で実施した。認定試験は札幌市及び仙台市で実施した。

B I S 有資格者のための更新講習会は道内で5回（札幌市2回、中標津町・帯広市・旭川市各1回）実施したほか仙台市でも実施した。また、平成16年度から始めたB I S - E の試験（書類試験・面接試験）はいずれも札幌市において2回実施した。

B I S、B I S - E 及びB I S - M 登録者は、それぞれ1,184名、99名、475名で平成30年3月31日現在1,758名である。

平成 29 年度 B I S 認定 講習会・試験等の実施日

行事名	B I S 更新講習会						B I S 養成講習会			B I S 認定試験		B I S - E 面接試験		
	中標津 町	帯広市	旭川市	札幌市 第 1 回	札幌市 第 2 回	仙台市	札幌市 第 1 回	札幌市 第 2 回	仙台市	札幌市	仙台市	第 1 回	第 2 回	
開催年 月日	29. 10. 20	28. 11. 2	29. 10. 26	29. 12. 12	30. 2. 13	30. 2. 1	30. 1. 11	30. 1. 18	29. 11. 21	30. 2. 1		29. 6. 22	30. 3. 2	
時間	13:30~16:30						9:10~ 12:00	9:30~17:00			13:30~ 16:00	14:00~ 16:30	9:00~12:00	
場所	中標津 町総合 文化会 館 第1 研修室	帯広経 済センター ビル6 階 大 会議室	旭川市 勤労者 福祉セ ンター 大会議 室	北海 道 自 治 労 会館4階 ホール	北海 道 第 二 水 産 ビル 8A 会 議 室	フォレ スト仙 台 第1 フォレ ストホ ール	北農健 保会館 エルム	北農健 保会館 大会議 室	宮城県 建設産 業会館 第2・3 会議室	北海道 第二水 産ビル 4S-4会 議室	フォレ スト仙 台 第1 フォレ ストホ ール	大五ビル 2 階 会議室		
受講・ 受験者 数	19	46	82	118	212	38	27	43	12	67	14	3	12	

2 住宅リフォーム事業者登録事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【その他事業】

北海道内における住宅リフォーム事業者の登録制度については、平成21年2月より登録申請受け付けを開始し、3年毎の登録更新を行っている。平成30年3月31日現在、登録されている事業者は111社である。

3 北海道住宅検査人認定・登録事業の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【その他事業】

当協会は、北海道R住宅推進協議会が制度設計した既存住宅の現況調査と改修アドバイスを行う「北海道住宅検査人」の認定登録業務の実施機関に平成21年6月に指定された。また、国土交通省による長期優良化リフォーム推進事業におけるインスペクターに当協会の住宅検査人制度を適合させ、国交省の補助事業に北海道住宅検査人が関与できるようインスペクター講習団体の募集に応募し、平成27年5月29日（登録日4月30日）に認定通知を受けた。

「既存住宅インスペクション・ガイドライン」（平成25年6月、国土交通省）に則った登録講習会を平成29年7月13日に札幌市において実施し、受講者は15名であった。また、更新講習会を平成29年11月28日に札幌市において実施し、受講者は5名であった。北海道住宅検査人登録講習受講者で修了考査の合格者及び北海道住宅検査人更新講習の受講者は長期優良住宅化リフォーム推進事業におけるインスペクションを実施できる「登録インスペクター」としても

登録された。なお、登録インスペクターである北海道住宅検査人が実施できる長期優良住宅化リフォーム推進事業でのインスペクションは平成32年3月までである。

平成30年3月31日現在の北海道住宅検査人登録者数は152名で、そのうち「登録インスペクター」は148名である。

4 研修会等の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【継1事業】

① 建物の総合診断医「ドクターG」の実施

平成29年6月15日(木)に札幌エルプラザにおいて、NHKで放送している「総合診断医ドクターG」をヒントに、若手技術者とベテラン技術者、さらには会場の聴講者も加わって劣化症例や調査内容について考えていく「建物の総合診断医「ドクターG」」を実施した。また、新技術として、會澤高圧コンクリート(株)の劉宏涛氏より「バクテリアを用いた自己治癒コンクリート技術」の紹介があった。参加者は50名であった。

② 外断熱研修会

平成29年7月21日(金)に北農健保会館において会員向けの外断熱研修会を実施した。研修会では、平川秀樹氏による「分譲マンションにおける外断熱改修の二つの効果(室内温熱環境改善と暖房用エネルギー消費量削減について)」、足立裕介氏による「外断熱耐久性調査委員会における建物調査結果のご紹介」、大橋周二氏による「アウトフレーム型分譲マンションの外断熱改修」の講演があり、39名の参加があった。終了後、サッポロビール園において懇親会が開催され、28名が参加した。

③ 診断研・外断研合同セミナー『今年の話から』の実施

平成29年9月6日(水)に建築診断研究会・外断熱建物研究会の合同セミナーが札幌エルプラザにおいて開催された。Part1では、2017年6月14日に発生した外断熱を施したロンドン高層住宅火災を中心に「外装材火災への取り組み」と題して、(株)JSP 小浦孝次氏の講演があった。Part2では、自然環境下の鉄筋コンクリート構造物の劣化をテーマに日本大学 湯浅昇先生の講演があり、65名の参加があった。

④ 北海道住宅検査人講習会

平成29年11月28日(木)北農健保会館3階芭蕉において、北海道住宅検査人登録者及び建築技術者を対象とした講習会を開催した。この講習会は、既存木造戸建住宅の現況調査のほか屋根や構造躯体の新築・改修・点検・維持管理を行う場合の知識習得の一助となることを目的に昨年度から始めたもので、第1講は(有)樋口板金 樋口健人氏による「あなたの知らない屋根の世界」、第2講は道総研林産試験場性能部構造・環境グループ 富高亮介氏による「木材の性質と腐朽」で、31名の受講があった。

⑤ 木質構造セミナー

平成30年3月5日(月)札幌エルプラザにおいて、北海道大学名誉教授 平井卓郎先生による「意匠・計画系設計者を対象にした木造建築の構造計画再入門」を開催した。セミナーでは、北海道特有の積雪や地震による荷重が加わった際、どのように力が伝わり、どこが弱点となりうるかをイメージしながら耐力壁や床組などの耐力要素を効果的に配置する構造計画の重要性を解説した。

5 見学会等の実施・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

- ① 耐震補強した北大キャンパスの歴史的建築物見学会（再掲）
- ② メーソンリー現場見学会（再掲）

第4 関係機関、団体等との連携・協力に関すること

1 社団法人日本建築学会との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

日本建築学会北海道支部の構造専門委員会、材料施工専門委員会、環境工学専門委員会をはじめ、各種委員会等に当協会々員が委員等として参画した。

2 関係機関等との連携・協力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 【継1事業】

従来から連携を図り、協力関係にあった国土交通省国土技術政策総合研究所、国立研究開発法人建築研究所、地方独立行政法人北海道立総合研究機構北方建築総合研究所・林産試験場、北海道建築設計会議、一般社団法人全国建築コンクリートブロック工業会等と情報の交換、フォーラム・セミナーの後援等を行った。また、当協会では全国耐震ネットワーク委員会の会員となって全体委員会に出席している。

北海道建設部建築指導課主催の「全道住宅建築物耐震改修促進会議」、「きた住まいる推進会議」、「赤れんが建築賞実行委員会」、「北海道空き家等対策連絡会議」などに委員として参画しているほか、道庁関係部との協力・連携を図った。

国土交通省の補助事業「平成29年度住宅建築技術高度化・展開推進事業」の実施機関である北海道住宅・建築生産体制強化推進協議会（事務局：（一社）北海道ビルダーズ協会）に構成団体の一員として参画し、住宅省エネ講習会の受講者募集に係る業務で協力を図った。

第5 その他

1 会員の状況

平成29年度中における入・退会状況は、次のとおりである。

会 員 数 の 推 移 (社・人)						
会員区分	29年度 期 首	期 中 移 動				29年度 期 末
		入会	退 会			
			任意 退会	10条1項 適用	10条4項 適用	
法人A会員	60	4	4			60
法人B会員	8	0			1	7

個人会員	120	8	4			124
特別会員	1					1
計	189	12			9	192

2 会議の開催状況

平成29年度における会議の開催状況は、次のとおりである。

【定時総会】

平成29年5月25日（木曜日）14時30分からホテル札幌ガーデンパレス4階平安において、委任状を含め131会員の出席により開催され、平成28年度収支決算が承認され、平成28年度事業実施報告及び監査報告、公益目的支出計画実施報告、平成29年度事業計画報告及び予算報告がなされた。また、理事・監事の改選があり、議案とおり承認された。

【理事会】

平成29年度の理事会は、次のとおり5回開催された。

第1回定例理事会 平成29年5月10日（水曜日） ホテル札幌ガーデンパレス
（主な議事内容）

- イ. 平成29年度予算書修正について
- ロ. 平成29年度通常総会の開催について
- ハ. 平成29年度通常総会への提出議案等について

第2回定例理事会 平成29年5月25日（木曜日） ホテル札幌ガーデンパレス
（主な議事内容）

- イ. 会長、副会長、専務理事、常任理事の互選について
- ロ. 顧問の推薦について

第3回定例理事会 平成29年11月15日（水曜日） ホテル札幌ガーデンパレス
（主な議事内容）

- イ. 定款の変更について
- ロ. 会長並びに専務理事の業務執行状況について

第4回定例理事会 平成30年2月8日（水曜日）、ホテル札幌ガーデンパレス
（主な議事内容）

- イ. 平成30年度総会について
- ロ. 枠組壁工法住宅仕様書申請者の移管について

第5回定例理事会 平成30年3月29日（水曜日）、ホテル札幌ガーデンパレス
（主な議事内容）

- イ. 平成30年度事業計画（案）について
- ロ. 平成30年度予算（案）について
- ハ. 北海道住宅検査人登録実施要領の改定について

【常任理事会】

平成29年度の常任理事会は、全てメール会議で次のとおり11回開催された。

第1回常任理事会（メール会議） 平成29年4月4日（火曜日）

第2回常任理事会（メール会議） 平成29年4月18日（火曜日）

第4回常任理事会（メール会議） 平成29年7月31日（月曜日）

第5回常任理事会（メール会議） 平成29年8月29日（火曜日）

第7回常任理事会（メール会議） 平成29年10月16日（月曜日）

第8回常任理事会（メール会議） 平成30年3月5日（月曜日）

第10回常任理事会（メール会議） 平成30年3月13日（火曜日）

第11回常任理事会（メール会議） 平成30年3月29日（木曜日）

（第1、第2、第4、第5、第7、第8、第10、第11回の議事内容）

イ. 新規会員の加入承認について

第3回常任理事会（メール会議） 平成29年5月30日（火曜日）

（議事内容）

イ. 原因究明業務の受託について

第6回常任理事会（メール会議） 平成29年9月12日（火曜日）

（議事内容）

イ. 調査業務の受託について

第9回常任理事会（メール会議） 平成30年3月12日（月曜日）

（議事内容）

イ. 検証業務の受託について

【部会・研究会連絡会議】

第1回部会・研究会連絡会議 平成29年6月1日（木曜日）、協会事務所

第2回部会・研究会連絡会議 平成29年7月27日（木曜日）、協会事務所

第3回部会・研究会連絡会議 平成29年9月26日（火曜日）、協会事務所

第4回部会・研究会連絡会議 平成29年11月9日（木曜日）、協会事務所

第5回部会・研究会連絡会議 平成30年2月6日（火曜日）、協会事務所

【各研究会運営委員会・事業部運営委員会】

各研究会運営委員会、事業部運営委員会の開催状況の詳細は省略します。

- ・メーソンリー建築研究会
- ・外断熱建築研究会
- ・建築診断研究会
- ・木質構造研究会
- ・設備・環境・エネルギー研究会
- ・住宅リフォーム事業部

以上